

すわみつけ通信

No.305 2024年2月26日

日本共産党鴻巣市議会議員
諏訪 三津枝



連絡先 鴻巣市赤見台3-2-7
TEL: 596-9440 FAX: 507-4151
携帯: 080-5039-2785
E-mail: mi-suwa@ezweb.ne.jp
mitsue-suwa@jcom.zaq.ne.jp

WEBで

すわみつけ



身近な議員として もっと届け
たい声がある 声をかたちに

鴻巣市議会3月定例会

すわ市議が「代表質問」を行います

並木市長による2024年度の施政方針及び予算（案）の大綱が出されました。市政運営の柱として、①全市的な「SDGs」の推進、②「子ども・子育て施策」の充実、③「市制施行70周年記念事業」の展開を掲げました。日本共産党を代表して、すわ市議が2月28日（水）午後1時30分頃に代表質問を行います。

【施政方針及び予算（案）の大綱】

＜検索＞鴻巣市HP⇒「市政情報」
または右のQRコードから



一般質問は3月18日（月）午前10時頃行います

【教育行政】

（1）児童生徒が安心して学ぶことができ、教職員がゆとりを持って元気に働く学校にすることについて
ア 小中学校統廃合で地域のコミュニティが弱まり地域で学ぶことが少なくなることへの打開策は
イ 本市の教職員が抱える業務実態をどうとらえ、どう改善しようとしているか

【市長政策行政】

（1）旧笠原小学校跡地利活用公募への応募状況について

代表質問の項目は

- （1）「鴻巣市SDGs未来都市計画」について
ア ジェンダー平等の視点を生かした取組は
イ 高齢者施策の取組は
ウ 食料自給率を高めるための農業政策は
エ 非核平和宣言都市として平和への新たな取組は
- （2）「子ども・子育て施策」の充実について
ア 小中学校給食費完全無償化の取組は
イ 国が提唱する「子どもまんなか宣言」に賛同する具体的な事柄は

【危機管理行政】

- （1）鴻巣市避難所マニュアル活用について
- （2）自主防災組織結成・運用への援助について
- （3）防災倉庫備蓄品について

【上下水道行政】

- （1）鴻巣市雨水管理総合計画に基づく浸水被害の軽減について
ア 施設整備を最優先としている西部第3排水区の貯留施設の計画事業化は令和5年度末としているが、その進捗について
イ 西部第3排水区・元荒川上流第1及び第2排水区の雨水管路新設の進捗状況について

*他に、「都市建設行政」について質問します。

冬ざれや災害にミサイルいらぬ
〔俳句コーナー〕

民子

春近い

3連休初日は冷たい雨に見舞われましたが、地域

の訪問活動で見かけた椿より小さい
ピンクの可憐な花。



家人のお話しで
「ワビスケ」と知
ることに。こういっ
た出会いが温まり
ます。

指一本の怪我

家の最中に右手の小指を痛めました。日を追って腫れあがり痛みも増すため、整形外科受診となりました。骨折はしていませんでしたが「第2関節軟骨の炎症」との診断。日常生活の中でも気を付けて怪我をしないようにしなければなりません。



毎週朝 駅頭においてホットなニュース「すわみつけ通信」をお届けします。
(月)吹上駅南口 (火)北鴻巣駅東口 (水)北鴻巣駅西口 (木)吹上駅北口 (金)鴻巣駅西口

「腐敗ばかりの政治は要らない」国会前で「#さようなら自民党政治 裏金政権NO! 増税脱税NO!」デモ



自民党派閥の政治資金パーティーの裏金づくりや防衛費の増額などを問題視し、岸田政権の退陣を求めるデモが2月22日夜、東京・永田町の国会議事堂前であった。参加者は「#さようなら自民党政治」と書いた横断幕を掲げ、国会に向かって「腐敗ばかりの政治は要らない」「裏金議員は説明を」と声を上げた。

登壇した法政大の山口二郎教授（政治学）は「大事な予算審議の時期に、裏金問題が最大の政治問題になってしまっている。ひとえに自民党のせいだ」と指摘。「日本の政治に常識を取り戻すため、政権交代に向けて声を上げていこう」と呼びかけた。

友人と参加した都内の女子大学生（20）=文京区=は「自民党は裏金問題で政治を滞らせ、機能不全に陥らせている」と憤った。公正な社会や政治を目指して行動する10～40代の市民有志を中心とするグループ「WE WANT OUR FUTURE」が主催。デモの模様はユーチューブでも配信された。（東京新聞 2月22日付）

株価最高値更新3万9千円台 なぜ国民は実感できないか



東京株式市場の日経平均株価（225種）が、バブル経済期につけた史上最高値を上回った。好調な企業業績などが要因という。だが、株高の象徴する好景気を実感している国民がどれだけいるだろうか。生活感覚とかけ離れた株高は、企業優先の政策のゆがみを映していよう。その点を見過ごしてはならない。

これまでの終値最高値は1989年末の3万8915円で、その後のバブル崩壊を機に株価は長らく低迷。日銀による2013年の大規模金融緩和などを弾みに上昇基調となり、2月22日は取引時間中に一時、3万9156円97銭、終値で3万9098円68銭となり、約34年ぶりに記録を更新した。

しかし肝心なのは、経済活動の実体を伴っているかどうかであろう。景気の柱である個人消費を見れば不振は鮮明だ。GDP（実質国内総生産）全体では景気後退に等しい2期連続減に沈んだ。

この景気実体とちぐはぐな株高は、手じまいできない大規模緩和と円安をはじめ、多くの原因を政策のゆがみと企業の姿勢に求められよう。企業利益や株主還元が拡大してきた背景には法人税減税などの優遇策がある一方で、家計には消費税や社会保障の負担増、そして物価高騰と重荷ばかりがのしかかる。

海外投資家などを恐れて企業が株主還元に前のめりな半面、賃上げには長年後ろ向きだった点も忘れてはならない。今春闘では従来以上の賃上げとして還元を求めたい。

株価高騰に反比例するように岸田政権の支持率は低迷する。政治資金問題だけでなく、国民生活の痛みへの無頓着が根底にあると知るべきだ。（佐賀新聞 「論説」 2月23日付）



猫ノ図書館「にゃにゃ」周年 「イワさんとニッポちゃん」も祝福

奥州市の胆沢図書館（千田布美夫館長）の猫本コーナー・猫ノ図書館は「猫の日」の2月22日、7周年を迎えて、現地で記念セレモニーを開いた。2017年からねこ館長を務めるむぎ（ブリティッシュショートヘアの雄、8歳）に任期を1年延長する辞令が交付され、岩手日報で連載中の「イワさんとニッポちゃん」が駆け付け祝福した。猫ノ図書館では周年記念の写真展や数量限定のグッズを配る。「にゃにゃ周年、PR頑張るよ」と鳴かんばかりのむぎがニヤンダフルな世界へ手招き。（岩手日報 2月23日付）

